

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

令和5年10月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100850		
法人名	有限会社 サカコーポレーション		
事業所名	グループホーム ガーデンの家落合南		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南9丁目5-20 (電話) (082)-843-4165		
自己評価作成日	令和5年10月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100850-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年10月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域との繋がりを大切にしています。本人様のできる事、したい事を継続できる様「役割作り」に取り組んでいます。入居者同士もお互い出来ない所を助け合いながら生活されています。各入居者に「担当者」を付け、生活の変化やご本人、ご家族のニーズの把握に努めています。そして「最後の10年が最高の10年」になる様、日々のケアを行っております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所の工夫している部分は、利用者のしたいことや叶えたいことを尊重し、実現できる体制が整備されている点と、法人内の地域密着型サービスが合同で委員会を開催し、サービスの質の向上に繋げる取り組みを行っている点である。第一に、事業所は毎月、利用者の楽しみや意欲に応じたレクリエーションが実施できる費用を確保し、行事の開催や手作りの食事、おやつを提供し、利用者が日々の生活に意欲を持ち、楽しみになるように取り組んでいる。第二に、身体拘束や排泄に関する各種委員会では、同一法人の他事業所と合同開催することで、具体的な複数事例検討を行うことが可能となり、課題解決に向けた適切なケアを検討し共有している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝、朝礼で「運営理念」の唱和を行い共有と理解を図っている。	法人が二か月毎に開催する倫理綱領において、理念を共有する機会を設けており、時間帯や開催日程を複数実施することで、全員が参加できるように工夫している。要介護状態になっても利用者一人ひとりのしたいことや叶えたいことが実現できるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前は「100歳体操」を施設内で開催していたが、コロナ禍においては実施出来なかった。現在、5類になったが再開は難しい面がある。	主に運営推進会議や自治会長を通じて、地域課題や情報の収集を行っている。代表者が事業所を訪問する際は、地域住民宅に足を運び、これまで築いてきた関係を維持する取り組みを行っている。地域住民から野菜の差し入れがあり、事業所から秋祭りの寄付を行い相互に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を2カ月に1回開催し、施設でのサービス内容、利用者の現状を開示する事でサービスの向上に努めている。又地域での取り組みや課題も共有している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では「家族へのお便り」などで利用者の生活の様子や行事のお知らせをしている。ご家族の代表者も会議に参加をしておられ、家族としての意見や想いを伺っている。	コロナ禍でも、運営推進会議を開催し、地域情報の収集や、事業所内の運営に関する報告を行っている。運営推進会議では、面会再開に関する意見があり、新型コロナウイルスが5類に移行してからは、人数や時間、場所に基準を設けて直接面会を再開している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの方や自治会長様にも参加を頂き、毎月の取り組みを伝え、相互の理解と協力の関係を築いている。	介護保険制度の改正などで、介護保険に関する問い合わせはケアマネジャーが担っている。指定更新に必要な研修の通知は法人から各事業所に伝達している。地域包括支援センターの担当者とは、定期開催の運営推進会議で顔の見える関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月委員会を開催し、身体拘束の有無や、グレーゾーンのケアが行われていないかチェックしている。又地域密着3事業所の勉強会や、サカグループの勉強会を通じ身体拘束についての考え方を共有している。	法人内のグループホーム3事業所合同で委員会を設置している。委員会では、半期ごとに身体拘束の件数の把握と改善計画、実施報告を行っている。事業所で課題となっている事例について委員会で適切なケアを検討し、職員へ周知することで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のお宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	毎月委員会を開催し、虐待の有無や、グレーゾーンのケアが行われていないかチェックしている。又地域密着3事業所の勉強会や、サカグループの勉強会を通じ虐待防止や通報制度について周知している。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会等は特に開催されていないが、自ら情報を得よう心掛け、ケアの向上に努めている。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に説明はされているが、利用者やご家族から不明な事や疑問が出された時はスタッフが電話や面会の機会を通じ丁寧に説明し理解を求めている。	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を通じ、苦情や施設に対する意見を開示しそれに対する対応、対策を説明している。	利用者家族から、面会や通院同行、電話での近況報告や、消耗品を届けてもらう際に意見を聴取している。利用者一人ひとりに介護職員の担当者を選任しており、担当者が家族と信頼関係を築くことで、家族が意見を表出しやすくなる工夫を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のチームミーティングでスタッフから意見や質問を聴き、それに対して、管理者を含め対応、対策を考え実行している。</p>	<p>毎月開催しているミーティングから職員の意見を聴取している。ノーリフトケア(人の力だけで抱え上げないケア)導入について意見があり、研修で知識を習得し、必要な備品の購入、業者による適切な使用方法の指導を受け導入した事例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務内容、職員配置、体調やスタッフ個人の悩みはリーダー、管理者に相談し改善に向けた動きが取られている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>様々な研修があり働きながらの「資格取得支援」や倫理感を養う為の「倫理綱領」や「外部研修」の機会がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>コロナ禍において、機会は激減したが、今後の方針としてコロナ前の状況に戻る為に努力している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に全ての情報を理解する事は難しいが、日々のケアの中で時間をかけながら信頼関係を築けるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>「フェイスシート」等で情報を各スタッフが把握し、日々の様子からニーズを引き出し、より良いケアが出来る様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>開始時において色々な情報を把握する事は難しいが利用者、家族にしっかりと寄り添った支援を目指したい。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個性や生活歴を大切に自立支援を行い、利用者の残存機能や力を十分に尊重する。</p>		
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>病院受診の同行をご家族にお願い、既往や体調に関する情報をスタッフと共有する事で共に支援していく関係作りを行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍では、外部との関わりが制限され、これまでの関係継続が難しく認知機能の低下が心配された。現在は制限はあるが面会が出来る様になり、関係継続が改善傾向にある。</p>	<p>現在は、人数や時間、面会場所を居室に限定した基準を設け、直接面会を再開している。感染症予防の観点から、面会を制限せざるを得ない状況下では、利用者の活動状況を写真付きの事業所だよりで郵送し、電話の取り次ぎを行い、馴染の人たちとの関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者全ての関係が円滑になる事は難しいと思われるがレクやクラフト作り、行事等を通じ少しでも穏やかな雰囲気作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了すると情報を得る事が難しくなり、支援には至っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人ひとりに担当者を決め、よりきめ細かいケアが出来る様、関係性を深めている。	担当職員から利用者の普段の様子を聞き取るとともに、利用者へ直接思いや希望を聞き取ることで確認している。意思表示が困難な場合は、これまでに利用者から発せられた意向を家族に確認し、家族の希望も取り入れて職員間で話し合い、方向性を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	無理のない範囲でご家族、利用者から情報を得て、「希望」や「要望」に添える様、全体で協力する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人々々生活パターンは違うので、スタッフ本位にならない様、利用者の自由を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的カンファレンス、モニタリング、アセスメントを行う事で利用者の現在のニーズをしっかりと引き出している。</p>	<p>目標に対するサービスの実施状況を毎日確認して記録し、毎月ケアマネジャーが評価や、達成度に応じて計画の見直しを行っている。計画作成には、家族の意向や協力を得られる部分も確認し、利用者が楽しみとなる具体的なサービスの提供や実施方法が盛り込まれている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットに日々の様々な情報を入力。申し送りを通じ利用者の状況や問題点をしっかりと共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>多方面から色々な意見を持ち寄り、利用者本位のケアとなるよう、あきらめずに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域や外部のボランティアと接する事が出来ず、現在もその状況が続いている。施設内で出来る事を最大限行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>複数の医院が施設に入っており、その中で利用者、家族、薬局との関係を築いている。</p>	<p>利用開始時に、利用開始後の医療について、送迎や付き添いの介護負担や医療費の支払い方法なども含めて、利用者、家族と相談し、希望する医師の診察が受けられるように支援している。事業所から医療機関へ直接利用者の情報提供を行い、円滑に医療を受けられるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎週月曜日に訪問看護が来所。その際気づきや変化、異常を伝え情報の共有、連携を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族、病院と密に情報の交換が出来る様、関係作りに努力している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族、主治医と話し合い、情報を共有しながらスタッフ全員で支援している。</p>	<p>利用開始時に、看取りや重度化した場合に想定される事態と、住み替えに関する必要な情報提供を行っている。利用者が人生の最終段階を迎えた場合は、地域の医師や薬剤師、訪問看護師などの関係者と、具体的方針を話し合い、職員へ周知しながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>「緊急時の対応」についての手順書が各フロアにあり、研修も実施している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>「夜間想定」の避難訓練を実施している。</p>	<p>夜間を想定した火災発生時の避難、救出訓練を実施している。想定される災害は水害が予測され、避難経路はマニュアル化し、有事の際は垂直避難を行う事になっている。食品は、日々の食事の在庫が、各階に数日から約ひと月分の蓄えがある。</p>	<p>現時点では、避難救出訓練の実施や、避難経路の単一化と食品の備蓄を行っている。全職員が昼夜の避難方法を身につけ、地域と相互に協力し有事に備える体制の強化に期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修等に参加し、認知症の症状による違いを理解し、各入居者を尊重しながら関わり方を工夫している。	入社時に開催する、合同研修では、接遇マナーを学ぶ機会がある。普段から朝礼や委員会などを通して、利用者の意思や人権を尊重することが当然のこととしてできるように、リーダーを通じ思いを共有している。転倒リスクが高いことを原因に利用者の行動制限をしないなどの取り組みを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の判断ではなく入居者様に問いかけを行い、ご本人の意思確認を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様がやりたい事を優先しながら希望に沿った支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合った衣服を選択して貰っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	コップ洗いや食器拭きのお手伝いをして下さっている。水分摂取量の少ない方にはゼリーを提供したり、体調を考慮しながらお好きな食べ物(おやつ等)を提供している。	食事は、毎食各階で炊飯と汁を調理し、おかずは調理され真空、冷凍されたものが届き、温めて盛り付け提供している。行事食や、利用者の希望を取り入れ、手作りの食事を提供したり、宅配を活用することもある。利用者は能力を活かして、下膳やむすびの調理などを担っている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量や水分量をチェックしながら、栄養バランスの確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、声掛けを行い口腔ケアの促し、実施をしている。一人では難しい方には一部介助や仕上げを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一定のリズムで排泄が出来る様に支援している。</p>	<p>電子端末に排泄の記録を残し、個人のデータから利用者一人ひとりの様子により排泄の誘導がいつ必要であるか判断している。終日トイレで排泄すること、入院の原因となる尿路感染の予防や保清にも取り組んでいる。委員会では個別に具体的な事例検討を行い自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>椅子に座ったままでも出来る体操等で体を動かし、腸の蠕動運動を促し、便秘の予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>タイミングを見ながら声掛けを行い、週2回の入浴を実施している。</p>	<p>浴室は3方向から介助ができる浴槽を備えている。洗身、洗髪動作が自立している利用者には、職員は外から見守り自立を支援している。入浴日の振替や、湯温、入浴時間や同性介助などの要望に応え、入浴が楽しめるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	各居室の環境を整え、リラックスできる空間作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ、病院、薬局と連携する中で薬について把握している。誤薬を防止する為、服薬前にはスタッフによるダブルチェックを実施している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクリエーションや塗り絵、製作物など個々のレベルに合った活動を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナによる外出制限により実施できていない。	日常的に、車いすの利用者も事業所敷地内の散歩や、職員と一緒にゴミ出しを行っている。家族の協力を得て、通院のために外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	毎週月曜日、水曜日に移動スーパーが来所。必要がある時に支援が行えている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙でのやり取りを希望された時に支援をしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	窓を開け、風を通し、明るい空間作りに努めている。季節のお花や壁画により四季を感じ心地良く過ごせる様、工夫している。	食堂は温かみのある電球色、台所と廊下は昼光色の照明を使い分け、部分的に家庭的な雰囲気を演出し、転倒予防に活用している。共用部は日に3回以上換気を行い、利用者と一緒にハンディクリーナーで掃除を行っている。季節を感じられる作品を制作、展示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルや椅子の配置を考えたり、ソファを設置し、くつろげる空間作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものや、お好きな物をご家族にご用意頂き、それを使って頂いている。	居室には、使い慣れた木製デスクと椅子を配置したり、家族から贈られたぬいぐるみを飾り、好みの芳香剤を置くなど、個性や好みを尊重した居室づくりを行っている。利用開始時は、転倒予防と自立移動の継続支援を目的とした、居室の動線確保や環境整備の助言も行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	日付や時間の分かる入居者様には、居室にカレンダーや時計を設置している。		

V アウトカム項目(ことば) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼時に理念を唱和し実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ対策の為できていないが緩和されたら交流する予定		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を2カ月に1回開催し、施設でのサービス内容、利用者の現状を開示する事でサービスの向上に努めている。又地域での取組や課題も共有している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	毎月ではないが、サービス内容等の報告を地域の方に行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議には地域包括の方や自治会長様にも参加を頂き、毎月の取組を伝え、相互の理解と協力の関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月委員会を開催し、身体拘束の有無や、グレーゾーンのケアが行われていないかチェックしている。又地域密着3事業所の勉強会や、サカグループの勉強会を通じ身体拘束についての考え方を共有している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>毎月委員会を開催し、虐待の有無や、グレーゾーンのケアが行われていないかチェックしている。又地域密着3事業所の勉強会や、サカグループの勉強会を通じ虐待防止や通報制度について周知している。又、言葉使いが適切かミーティングで確認している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会等は特に開催されていないが、自ら情報を得よう心掛け、ケアの向上に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明はされているが、利用者やご家族から不明な事や疑問が出された時はスタッフが電話や面会の機会を通じ丁寧に説明し理解を求めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を通じ、苦情や施設に対する意見を開示しそれに対する対応、対策を説明している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のチームミーティングでスタッフから意見や質問を聴き、それに対して、管理者を含め対応、対策を考え実行している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務内容、職員配置、体調やスタッフ個人の悩みはリーダー、管理者に相談し改善に向けた動きが取られている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	様々な研修があり働きながらの「資格取得支援」や倫理感を養う為の「倫理綱領」や「外部研修」の機会がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍において、機会は激減したが、今後の方針としてコロナ前の状況に戻る為に努力している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に「施設見学」をして頂きツアーの様子を見て頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>「フェイスシート」等で情報を各スタッフが把握し、日々様子からニーズを引き出し、より良いケアが出来る様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>開始時において色々な情報を把握する事は難しいが利用者、家族にしっかりと寄り添った支援を目指したい。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>皿拭きやレクリエーションなど出来るような事を一緒に行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>写真付きのお便りを毎月ご家族に発送している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>事前に予約を頂く事で、居室での面会ができるようになった為、それを通じ関係性の維持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	チームを組んだレクを行う事で、利用者同士の関わりを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了すると情報を得る事が難しくなり、支援には至っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からの情報やフェイスシートを活用している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族から情報の提供を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	体調管理をしっかりと行い、無理の無い生活ができる様、支援している		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>チームミーティングで生活の変化やご家族、ご本人のニーズについて話し合っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットに個人記録を入力し、職員間で共有している。病院との連携時には情報提供に用いている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>各入居者のかかりつけ医と連携し体調の相談や管理をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域や外部のボランティアと接する事が出来ず、現在もその状況が続いている。施設内で出来る事を最大限行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>複数の医院が施設に入っており、その中で利用者、家族、薬局との関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週月曜日に訪問看護が来所。その際気づきや変化、異常を伝え情報の共有、連携を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族、病院と密に情報の交換が出来る様、関係作りに努力している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族、主治医と話し合い、情報を共有しながらスタッフ全員で支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	「緊急時の対応」についての手順書が各フロアにあり、研修も実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	「夜間想定」の避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修等に参加し、認知症の症状による違いを理解し、各入居者を尊重しながら関わり方を工夫している。又、書類は保管庫にて管理している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の判断でなく入居者様に問いかけを行い、ご本人の意思確認を行った上で利用者に沿った支援を実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理強いせず、興味を持って取り組める事を利用者のペースで楽しみながら日々を過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で服を選んで頂く様にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	「おやつレク」で季節の食材を用いたものを提供している。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>食事摂取量や水分量を記録に残し、体調 管理に繋げている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、声掛けを行い口腔ケアの促し、 実施をしている。一人では難しい方には 一部介助や仕上げを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>「排泄表」でパターンを管理し、間隔の 空いている方には声を掛けてトイレ誘導 をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>椅子に座ったままでも出来る体操等で体 を動かし、腸の蠕動運動運動を促し、便 秘の予防に取り組んでいる。又、状況に 応じ医師とも連携している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>体調に配慮しながら、週2回の入浴を実 施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>各居室の環境を整え、リラックスできる空間作りに努めている。又、室温調整も行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>スタッフ、病院、薬局と連携する中で薬について把握している。誤薬を防止する為、服薬前にはスタッフによるダブルチェックを実施している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>レクリエーションや塗り絵、製作物など個々のレベルに合った活動を行っている事とみんなで作れるレクリエーションの提供にも努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナによる外出制限により実施できていない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>毎週月曜日、水曜日に移動スーパーが来所。一緒に買い物をする事で支援に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話、手紙でのやり取りを希望された時に支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>汚れた箇所があればすぐに清掃し、居心地よく過ごして頂ける様に努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ご本人の意思により、居室で過ごして頂いている。ゆったりとすごせる空間作りに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族の写真や愛用されていた物を使い、なじみのある居室作りに努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>フロアの壁、全体に手すりを設置し安全に歩ける様に配慮している。</p>		

V アウトカム項目(ひだまり)) ← 左記()内へユニット名を記入願います	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家落合南

作成日 令和5年11月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に地域との連携ができる体制を作る必要がある。	有事に備える体制強化。	①運営推進会議での課題共有。 ②マニュアルの作成。	①令和6年3月末 ②令和6年9月末
2	42	グループホームは特養と比較し、外部講師を招いての学習機会が少ない。	誤嚥性肺炎での入院を無くす。	歯科医による「口腔ケア」研修を行う。	令和6年3月末
3	52	バルコニーが整備されて居ない為、だれも使えていない。	バルコニーを整備し、ご家族と入居者がくつろげる場とする。	ユニットレク費を使い、花やテーブル、パラソルを購入。入居者、家族がくつろげる場とする。	令和6年3月末
4	2	以前実施していた「100歳体操」等の取り組みが出来ていない。	「100歳体操」復活。	地域密着3事業所で開催している「感染委員会」で課題を共有、解決する。	令和6年9月末
5	49	日常的な外出支援が出来ていない。	外出レクの実施。	飲食を伴わない外出レクを令和6年3月迄に1件実施。	令和6年3月末
6	41	「栄養補助食品」活用がされていない。	栄養補助食品を知り、実際のケアの取り入れる。	食事量の減少している方を朝礼で発信。ケアマネと情報を共有し栄養補助食品を選択、購入する。	令和6年3月末
7	13	育成の手順が統一されていない。	グループで定められた「育成シート」周知。	リーダーと育成シートを共有し修正、追記等を行い、使えるシートにする。	令和6年3月末

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。